

ケンタ通信

86号

都構想のために、 国政から府政へ。

この度、大阪都構想のために府政に身を投じることになりました。

道州制に並ぶ大切な政策である大阪都構想が行き詰まる中、松井一郎代表から「都構想実現の最後のチャンスに捨て身で協力してくれないか」との要請を受け、決意を固めました。

ご批判もあろうかと思いますが、どうか大阪都構想実現のために皆様のお力をお貸しください。

松浪健太



▶ 産経新聞3月6日付 朝刊より

産経新聞 平成31年(2019年)3月6日 水曜日

維新が松浪氏擁立

大阪府議選 統一地方選の準備加速

大阪都構想への民意を問うため、大阪維新の会を率いる松井一郎知事と、吉村洋文・大阪市長が入れ替えダブル選に挑む意向を強める中、同時に行われる4月の統一地方選(府議・市議選)に向け、維新が準備を加速させている。5日には府議選高槻市・三島郡選挙区(定数4)で、現職に続いて、元衆院議員の松浪健太氏(47)の公認を発表。都構想をめぐる公明党との交渉決裂を受け、維新はダブル選勝利に加え、府議選(定数88)での単独過半数を「最低ライン」(維新幹部とした目標を掲げる。松浪氏は、高槻市を地盤に衆院議員を計5期務め、都構想の根拠法規である大都市法の制定にも携わった。国会議員経験者が府議選に立候補するのは異例だが、松浪氏は大阪市内の党本部で開いた会見で、松井

氏から「力を貸してくれ」と直接の出馬要請があったと説明。「都構想実現のため、「兵卒として臨む」と述べた」写真。

高槻市・三島郡選挙区にはほかに4人が立候補を予定。その中には、公明府本部幹事長として維新との折衝の中心に動いてきた現職の林啓一氏も含まれる。

同選挙区で維新2人目となる松浪氏の擁立は、林氏への「刺客」という見方も出ているが、松浪氏はこれを否定。松井氏も「4人区なので(2人立てるのは)既定路線」とした。

維新は府市両議会でも過半数に届かず、公明の協力も得られなくなったため、都構想の賛否を問う住民投票の議決ができない。このため、両議会での単独過半数を最終目標に、府議選では5日までに54人を公認し党勢拡大を狙う。

記者会見に マスコミ全社

松浪ケンタの擁立を発表する記者会見が3月5日、大阪維新の会本部で開かれた。

会見に同席した今井豊幹理事長は「都構想の根拠法規である大都市法成立の立役者である松浪氏が加われば、全体の士気が上がる」と述べた。

ケンタは「都構想実現のために捨て石になる覚悟で臨む」と話した。

解説

府議会の過半数で 都構想が動くワケ。

■ 法定協で逆転へ

大阪都構想案（協定書）をつくる法定協議会（法定協）は現在、維新だけでは過半数に1人足りません。

法定協は以下のように20人のメンバーで構成されています。

- ・大阪府知事 1人（維新1）
- ・大阪市長 1人（維新1）
- ・大阪府議会議員 9人（維新4）
- ・大阪市議会議員 9人（維新4）

このように、維新のメンバーは10人ですが、議事を進行する会長を除くため、多数決を採ると10対9で過半数を占めることができないのです。

しかし維新が府議会全体で過半数を占めれば、府議枠は5人となり、多数決が逆転するので、協定書の採択が確実になるというワケです。

■ 都構想に身を捧げる 国政から府政へ

大阪都
+
道州制

「大阪都+道州制」のトレードマークを長年、掲げてきました。

松井一郎代表から「都構想実現は今が最後のチャンス。府議会での過半数獲得に力をかけてよ。頑張ろう」との要請を受けました。

なりふり構わず進みます。



都構想・道州制への志 松浪ケンタの年表

1971.8	泉佐野市議会議員だった祖父・庄造が「健太」と命名。理由は「簡単な名前のほうが選挙に有利だから」。祖父はケンタが2歳の時に死去するが、自らの土地を市に寄付しながら市道の整備を進めた祖父の逸話を聞きながら育つ
1991.4	早稲田大学 商学部に入學するも、空手とボクシングに明け暮れる
1994.4	休学。オーストラリアの小中学校で日本文化を教えながら、日本を再確認する。政治家になる為に、まず新聞記者を志す
1997.4	産経新聞社 入社
2002.10	補欠選挙で衆議院議員初当選
2003.11	落選。平成の維新を起こそうと、道州制を志す
2005.9	2期目当選 自民党道州制調査会に入会
2008.9	内閣府大臣政務官(地方分権、道州制など担当)
2009.8	3期目当選 自民党道州制推進本部事務局長
2011.4	超党派「道州制懇話会」を設立、事務局長就任
2012.8	大阪都法案の与野党協議責任者として法案を立案、成立させる
2012.9	日本維新の会を立ち上げ、国会議員団幹事長
2012.12	4期目当選
2014.12	5期目当選 維新の党道州制調査会会長
2017.10	衆議院選挙 落選
2018.2	シンクタンクの研究者として人口減少問題などを研究



- ・国では 「道州制」
- ・大阪では 「大阪都構想」
- ・地元では 「高槻と島本合併」